

## 第5章 リーディングプロジェクト

- 1 日々の暮らしの中で、できることを考え、行動し、地球環境保全に貢献しよう
- 2 ごみを減らし、資源を循環利用しよう
- 3 みんなの手で、よりよい環境づくり

計画を推進していく中で、全体を先導していく施策を、リーディングプロジェクトとして位置づけ取り組んでいきます。

リーディングプロジェクトについては、全体を先導するために最も効果的な施策として、次の2つの視点から整理しました。

- ①市民の関心が高く、市としても重点的に取り組んでいる事項
- ②市、事業者、市民の取組が、より促進されるために効果的な事項

これらを踏まえ、個別施策の中から選定した3つの施策を主体にして、全体の取組の促進を図ります。なお、リーディングプロジェクトは、第4章に掲げる取組により推進するものとします。

## 1 日々の暮らしの中で、できることを考え、行動し、地球環境保全に貢献しよう

本市では、「高萩市地球温暖化対策実行計画」を基に、地球温暖化対策に関する計画を推進し、実行計画で得た効果を市域へ広めるため、緑のカーテンの設置及びコンテストの実施など、地球温暖化対策への取り組みを行ってきました。

市民の取り組みでは、ごみの減量化と併せて二酸化炭素の排出削減のために、マイバッグ推進運動が展開され、取り組みが浸透してきました。しかしながら、市民の意識調査からは、気候変動による地球温暖化問題が最も深刻に感じている環境問題であり、取り組みやすいことは積極的に取り組めるが、まだあまり積極的には取り組めないことがあることが分かりました。

事業者の取り組みでは、廃棄物の分別や省エネへの取り組み実施率が高く、環境保全に取り組むために必要な情報のトップが地球温暖化対策であり、私たちの生活の中に地球温暖化対策や気候変動に対して重要視されていることが伺えました。

今後、2050年までに二酸化炭素排出量ゼロを目標に掲げるゼロカーボンシティを目指すことや、地球温暖化対策を通して幅広い環境保全への貢献を目指すため、「緑のカーテン設置推進」をはじめとした地球温暖化対策の取り組みや気候変動適応計画の策定を検討します。

### プロジェクトの概要

#### 緩和策

- ・温室効果ガス（CO<sub>2</sub>）の排出削減
- ・緑のカーテン設置推進
- ・地産地消の推進
- ・地元資源の活用

#### 適応策

- ・市・事業者・市民が連携し、気候変動適応策を推進する。
- ・耕作放棄地になっている水田だったエリアを自然のダムとして活用し、災害対策に役立てる。

## 2 ごみを減らし、資源を循環利用しよう

本市では、高萩市一般廃棄物処理基本計画による、ごみの減量化を推進することや市民によるマイバッグ推奨推進運動などにより、一般廃棄物の総排出量は年々減少していますが、循環型社会の構築を目指すためには、さらなる減量化が必要です。特に、焼却処理される可燃ごみについては、水分が半分以上を占めている状況から、収集運搬や焼却時の燃焼効率から見ても、環境負荷が大きいと言えます。水分が多い生ごみは、できる限りの堆肥化を推進していますが、生ごみ処理容器等の導入率や意識調査からも普及率が低い状況にあります。

今後、環境負荷の少ない循環型社会の形成を目指すため、家庭や事業所等からのごみの排出抑制、再使用、再利用に継続して取り組んでいきます。

### プロジェクトの概要

#### ライフスタイルなどの見直しによるごみの減量化

- ・マイバッグ持参によるレジ袋の使用量削減
- ・簡易包装の徹底
- ・生ごみ減量化の促進
- ・詰め替え商品やリターナブル容器の使用促進
- ・レンタルやリース、修理の利用促進

#### 再使用や再利用によるごみの減量化

- ・ごみ分別の周知徹底
- ・再資源の集団回収の推進
- ・小売業者による店頭回収の推進
- ・フリーマーケットなどの活用の啓発
- ・再生品の利用促進や分別の徹底

上記項目の意識啓発や地域環境美化活動、不法投棄防止対策の推進に取り組みます。

### 3 みんなの手で、よりよい環境づくり

計画を効果的に推進するためには、環境保全活動の普及・啓発が重要です。本市では、市報やホームページなどを通じて、さまざまな環境情報の提供に努めてきました。家庭や職場・学校、通勤・買い物等における、個人としての取り組みは、徐々に浸透しつつありますが、環境保全等のためのボランティア活動団体への参加など、更に普及・啓発が必要です。

市民や事業者の取り組みの中には、本市の豊かな自然環境を守るために、海岸一斉清掃や各種美化活動、花いっぱい運動への参加など、協働での環境活動が行われていますが、市民の意識調査では、協働での環境活動への参加率が低い状況であることから、ごく一部での取り組みであると言えます。

市内で行われている環境活動の輪を広げ、より多くの市民が参加できるような体制や環境保全に関する情報の取得及び共有が効率よく行える体制の強化が必要であるため、市民・事業者及び関係団体が連携し、協働で環境保全活動を推進していくための普及・啓発に取り組んでいきます。

#### プロジェクトの概要

##### 環境学習指導者、環境保全活動指導者の確保

- ・茨城県環境アドバイザー制度や茨城県地球温暖化防止活動推進員制度の活用、環境活動団体等からの指導者の推薦など

##### 環境学習メニューの提供

- ・テーマ別出前講座
- ・自然観察会
- ・体験型学習会
- ・イベント会場におけるワークショップなど